

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究 調査票（A票）

ID

パスワード

1. 分娩取扱施設の基本情報

令和6年9月1日時点

回答欄			留意点等
1	施設名	ふりがな	名称を記載してください。
2		漢字	
3	施設所在地	郵便番号	貴施設の所在地を記載してください。
4		都道府県	
5		市区町村	
6		上記以下	
7	回答担当者氏名	ふりがな	ご回答いただいている担当の方のお名前、所属部署、電話番号、メールアドレスをお書きください。調査票に関してご連絡を差し上げることがあります。
8		漢字	
9	回答担当者所属部署		
10	回答担当者電話番号		
11	回答担当者メールアドレス		
12	施設種別（複数選択可）	1.特定機能病院 2.総合周産期母子医療センター 3.地域周産期母子医療センター 4.産科単科病院 5.こども病院 6.上記以外（ ）	1.特定機能病院とは、厚生労働大臣より特定機能病院として名称の承認を得ている病院をいいます。 2.総合周産期母子医療センターとは「周産期医療体制整備指針」（平成22年1月26日付医政発0126第1号の別添2）により、常時の母体及び新生児搬送受入体制を有し、合併症妊娠（重症妊娠高血圧症候群、切迫早産等）、胎児・新生児異常（超低出生体重児、先天異常児等）等母体又は児におけるリスクの高い妊娠に対する医療、高度な新生児医療等の周産期医療を行うことができるとともに、必要に応じて当該施設の関係診療科又は他の施設と連携し、産科合併症以外の合併症（脳血管障害、心疾患、敗血症、外傷等）を有する母体に対応することができる医療施設として、都道府県に指定されている病院をいいます。 3.地域周産期母子医療センターとは、「周産期医療体制整備指針」（平成22年1月26日付医政発0126第1号の別添2）により、産科及び小児科（新生児医療を担当するもの）等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設として、都道府県に認定されている病院をいいます。 4.産科を主とする病院の場合はこちらを選択してください。 5.小児科を主とする病院の場合はこちらを選択してください。
13	設置主体（いずれか1つ選択）	1.国立（国、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、行政法人地域医療機能推進機構） 2.公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人） 3.公的（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会） 4.社会保険関係（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びの連合会、国民健康保険組合） 5.医療法人（社会医療法人は含まない） 6.その他の法人（公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人） 7.個人	貴院の設置主体を選択してください。
14	周産期救急情報システムへの参加の有無（いずれか1つ選択）	1.直接活用 2.直接活用していないがコーディネーターを通して活用 3.システムがない	貴施設の所在する都道府県の「周産期救急情報システム（周産期医療情報センターが運営する病床の空床状況や重症例や産科合併症以外の合併症による母体救急患者の受入れ可能状況等の情報収集、情報提供を行うシステム）」について、活用状況を選択してください。 空床状況等の情報に直接アクセスして活用している場合は1を選択してください。 情報システムに直接アクセスしていないが搬送コーディネーター等の調整者を通して活用している場合は2を選択してください。 周産期救急情報システムは活用していない場合は3を選択してください。

2－1．病院票

令和6年9月1日時点

(1) 構造設備

		回答欄		留意点等
1	分娩室数		室	貴施設で分娩室として使用している部屋数を記載してください。(LDR室・陣痛室は除きます。) 分娩を行う分娩台の数を記載してください。
2	分娩台数		台	
3	L D R室数		室	陣痛室・分娩室・回復室が一体となった個室であるLDR (Labor Delivery Recovery) の室数を記載してください。(分娩室・陣痛室は除きます) 病室以外で分娩第一期を過ごす部屋 (分娩室・LDR室除く) 数を記載してください
4	陣痛室数		室	
5	分娩室用超音波画像診断装置台数		台	分娩室・LDR室・陣痛室のいずれかに、分娩時専用の超音波診断装置を有している場合に台数を記載してください。 ※外来や入院病棟においてある超音波診断装置を併用している場合は0台とご回答ください。
6	集中監視システム機器	1.有 2.無		
7	分娩監視装置閲覧モニターの設置場所をすべて記載してください。 (例：医局・当直室・ナースステーション・外来)			
8	分娩監視装置台数		台	分娩の際や分娩以外の目的で入院している妊婦に対して使用可能な分娩監視装置の台数を記載してください。 ※故障などで作動しない装置は数に計上しないでください。 ※外来や救急外来などで使用している装置は数に含めないでください。 新生児ウーマーの台数を記載してください。 ※壊れているなどの場合には数に計上しないでください。
9	保育器（開放式）（インファントウーマー）		台	

(2) 分娩取扱施設の医療体制

10	常勤勤務の週あたりの勤務時間数		時間	貴施設で取り決められている、常勤職員の最低勤務時間数を記載ください。
----	-----------------	--	----	------------------------------------

11	産婦人科医師数	常勤医師数		人	主に産婦人科診療に従事する常勤医師数（産科及び婦人科診療に従事する医師を含みます。）を記載してください。
12		非常勤医師の常勤換算		人	
13	産婦人科医師数のうち分娩を取り扱う医師数	常勤医師数		人	主に産婦人科診療に従事する非常勤医師数を常勤換算で記載してください。 (産科及び婦人科診療に従事する医師を含みます。)
14		非常勤医師の常勤換算		人	
15	小児科医師数（新生児科医含）	常勤医師数		人	産婦人科常勤医師数のうち、分娩を取り扱う常勤医師数を記載してください。 産婦人科非常勤医師数のうち、分娩を取り扱う非常勤医師数を記載してください。
16		非常勤医師の常勤換算		人	
17	麻酔科医師数	常勤医師数		人	主として小児（新生児含）の診療に従事している常勤医師数を記載してください。 主として小児（新生児含）の診療に従事する非常勤医師数を常勤換算で記載してください。
18		非常勤医師の常勤換算		人	
					麻酔科診療に従事する常勤医師数を記載してください。主に産婦人科診療に従事する医師（産婦人科医師）は除いてください。
					麻酔科診療に従事する非常勤医師数を常勤換算で記載してください。主に産婦人科診療に従事する医師（産婦人科医師）は除いてください。

夜間・休日の体制

		夜勤医師		宿直医師		
19	平日夜間	産婦人科		人		人
20		小児科（新生児科医含）		人		人
21		麻酔科		人		人
		日勤医師		日直医師		
22	祝日休日などの休診日の日中	産婦人科		人		人
23		小児科（新生児科医含）		人		人
24		麻酔科		人		人
		夜勤医師		宿直医師		
25	祝日休日などの休診日の夜間	産婦人科		人		人
26		小児科（新生児科医含）		人		人
27		麻酔科		人		人

オンコールの人数

28	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院内</u> に待機している人数	産婦人科医師		人	※整数値で回答してください。
29		小児科医師（新生児科医含）		人	
30		麻酔科医師		人	
31		その他		人	
32	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院外</u> に待機している人数	産婦人科医師		人	
33		小児科医師（新生児科医含）		人	
34		麻酔科医師		人	
35		その他		人	

回答欄

留意点等

病院に配置されている職員数（常勤数、非常勤の常勤換算）					
36	薬剤師	常勤		人	薬剤師であり、主として薬剤師の業務を行っている常勤職員
37		非常勤（常勤換算）		人	薬剤師であり、主として薬剤師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
38	保健師	常勤		人	保健師であり、主として保健師の業務を行っている常勤職員
39		非常勤（常勤換算）		人	保健師であり、主として保健師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
40	助産師	常勤		人	助産師であり、主として助産師の業務を行っている常勤職員
41		非常勤（常勤換算）		人	助産師であり、主として助産師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
42	看護師	常勤		人	看護師であり、主として看護師の業務を行っている常勤職員
43		非常勤（常勤換算）		人	看護師であり、主として看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
44	准看護師	常勤		人	准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている常勤職員
45		非常勤（常勤換算）		人	准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
46	看護補助者	常勤		人	看護補助者であり、主として看護補助者の業務を行っている常勤職員
47		非常勤（常勤換算）		人	看護補助者であり、主として看護補助者の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
48	保育士	常勤		人	保育士であり、主として保育士の業務を行っている常勤職員
49		非常勤（常勤換算）		人	保育士であり、主として保育士の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
50	管理栄養士	常勤		人	管理栄養士であり、主として管理栄養士の業務を担当する常勤職員
51		非常勤（常勤換算）		人	管理栄養士であり、主として管理栄養士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
52	栄養士	常勤		人	栄養士であり、主として栄養士の業務を担当する常勤職員
53		非常勤（常勤換算）		人	栄養士であり、主として栄養士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
54	公認心理師	常勤		人	公認心理師であり、主として公認心理師の業務を担当する常勤職員
55		非常勤（常勤換算）		人	公認心理師であり、主として公認心理師の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
56	臨床心理士（公認心理師を除く）	常勤		人	臨床心理士であり、主として臨床心理士の業務を担当する常勤職員
57		非常勤（常勤換算）		人	臨床心理士であり、主として臨床心理士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
58	精神保健福祉士	常勤		人	精神保健福祉士であり、主として精神保健福祉士の業務を担当する常勤職員
59		非常勤（常勤換算）		人	精神保健福祉士であり、主として精神保健福祉士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
60	（社会福祉士）医療ソーシャルワーカー	常勤		人	社会福祉士であり、主として社会福祉士の業務を担当する常勤職員
61		非常勤（常勤換算）		人	社会福祉士であり、主として社会福祉士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
62	その他の職員	常勤		人	
63		非常勤（常勤換算）		人	

（3）分娩取扱施設の実績（令和6年9月1日～30日の1ヶ月）

64	全分娩件数（人工妊娠中絶は除く）（12週以降）			件	令和6年9月1日～9月30日の期間の人工妊娠中絶を除く分娩件数を記載してください。※死産は含みます。※多胎は1件としてください。
65	全分娩件数のうち、早産の経膈分娩件数（37週未満）	a. 鉗子分娩		件	
66		b. 吸引分娩		件	
67		c. 上記以外		件	
68	全分娩件数のうち、経膈分娩件数（37週以降）	a. 鉗子分娩		件	
69		b. 吸引分娩		件	
70		c. 上記以外		件	
71	全分娩件数のうち、早産の帝王切開術数（37週未満）	a. 予定帝王切開術数		件	
72		b. 緊急帝王切開術数		件	
73	全分娩件数のうち、帝王切開術数（37週以降）	a. 予定帝王切開術数		件	
74		b. 緊急帝王切開術数		件	
75	全分娩件数のうち、無痛分娩件数（65～74の項目の内数）	a. 硬膜外麻酔		件	
76		b. 脊椎くも膜下硬膜外併用麻酔		件	
77		c. その他の麻酔		件	
78	65～77に当てはまらない分娩			件	※分娩前の入院日数は含みません。
79	院内助産の実施の有無		1.有 2.無		
80	全分娩件数のうち、院内助産の分娩件数			件	
81	出産目的で入院する妊産婦の入院日数として、最も多い入院日数（分娩日を0日として、退院までの日数を記載）	a. 経膈分娩（初産婦）		日	
82		b. 経膈分娩（経産婦）		日	
83		c. 帝王切開分娩		日	

		回答欄	留意点等
84	出産に係る入院時に妊産婦に一律に提供している物品等（自由記載）		分娩を伴う入院の際に追加料金なく提供している（入院料等に含まれている）物品等を記載してください。 例：新生児用おむつ、産褥ナプキン等
85	上記の妊産婦に一律に提供している物品等の合計金額		
86	無痛分娩	a.実施	1.有 2.無
87		b.設定価格	
88	付帯サービスの種類や有無、価格	お祝い膳	1.有 2.無 3.妊産婦が選択
89		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ
90		（前問で2を選択した場合）設定価格	
91		写真撮影	1.有 2.無 3.妊産婦が選択
92		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ
93		（前問で2を選択した場合）設定価格	
94		足形	1.有 2.無 3.妊産婦が選択
95		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ
96		（前問で2を選択した場合）設定価格	
97		エステ（※乳房マッサージは除く）	1.有 2.無 3.妊産婦が選択
98		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ
99		（前問で2を選択した場合）設定価格	
100		その他（自由記載）	
101	胎盤の処理		
102	先天性代謝異常等検査	a.実施	1.有 2.無
103		b.設定価格	
104	新生児聴覚検査	a.実施	1.有 2.無
105		b.設定価格	
106		c.自治体の補助の有無	1.有 2.無
107		d.（cで有の場合）自治体の補助額	
108	ビタミンK2内服	a.実施	1.有 2.無
109		b.設定価格	
110	新生児1か月健診	a.実施	1.有 2.無
111		b.設定価格	
112		c.自治体の補助の有無	1.有 2.無
113		d.（cで有の場合）自治体の補助額	

1病棟・ユニット目

2－2．病棟票・ユニット票（3つ以上の病棟・ユニットを有する場合は、各病棟・ユニットごとに記載※5.6ページをコピーして記載ください。）

病棟及びユニットについてご回答ください。ユニットに関して、ユニットが病棟に属する場合、ユニット票 1 枚、病棟票（病棟内でユニットを除く部分） 1 枚の計 2 枚にご回答ください。また分娩棟など、分娩室やLDRのみを有し、当該棟のみで看護配置が行われている場合は、分娩棟として 1 枚ご回答ください。

（1）病棟・ユニット構成等 令和6年9月1日時点

			回答欄		
1	病棟・ユニットの病床数				床
2	病棟構成（いずれか 1 つ選択）	1.産科単独病棟 2.産科区域の特定がある混合病棟 3.混合病棟 4.産科のみで複数の病棟・ユニットに分かれている。			
3	（上記の間で 2、3 を選んだ場合のみ回答）産科以外の診療科で当てはまるものを選択してください。		1.婦人科 2.産科・婦人科以外の他科診療科 3.婦人科および他科診療科		
4	（2の間で 4 を選んだ場合に回答）本回答用紙に当てはまる病棟・ユニット区分を選択してください。		1.妊婦用 2.褥婦用 3.分娩用 4.妊産婦用 5.MFICU用		
5	妊産婦が入院する部屋が全室個室の場合は「はい」を選択してください。		1.はい 2.いいえ		
6	病棟・ユニットの部屋の構成とその室料差額について病床数とその入院料＋室料差額の金額を記載してください。病床数が多い順に記載してください。		個室（パターン1）		床
7			一日あたりの料金		円
8			個室（パターン2）		床
9			一日あたりの料金		円
10			個室（パターン3）		床
11			一日あたりの料金		円
12			個室（パターン4）		床
13			一日あたりの料金		円
14			個室（パターン5）		床
15			一日あたりの料金		円
16			2床室（パターン1）		床
17			一日あたりの料金		円
18			2床室（パターン2）		床
19			一日あたりの料金		円
20			3床室（パターン1）		床
21			一日あたりの料金		円
22			3床室（パターン2）		床
23			一日あたりの料金		円
24			4床室（パターン1）		床
25			一日あたりの料金		円

留意点等

病床数を記載ください。分娩室・LDR室・陣痛室・新生児用ベッドを除き、産後ケア用ベッドは含めてください。ただし、産後ケア用ベッドと他のベッドで看護配置が分かれている場合には、別票に記載ください。

平時の状況を記載ください。（例えば、災害時や感染症拡大時等の運用は除きます）

1.妊産婦のみ入院する病棟の場合はこちらを選択してください。

2.妊娠を伴わない婦人科疾患の患者と妊産婦が入院する病棟が同じ場合はこちらを選択してください。

3.妊娠を伴わず、婦人科疾患も伴わない（消化器疾患や循環器疾患等）患者と妊産婦が入院する病棟が同じ場合はこちらを選択してください。

4. 例）妊婦用病棟、褥婦用病棟、分娩のみ行う病棟、MFICUなどに分かれている。

個室（特別室など含）、2床室、3～4床室、その他（5床室以上）に自費入院する際の、入院料＋室料差額を記載してください。

注1：室料差額が入院料に包括されている場合で、各部屋毎に入院料が異なる場合には、入院料を記載してください。

注2：妊産婦の家族等が入院できる場合でも、妊産婦 1 名が対象となる場合は個室の欄に記載してください。

※上記に当てはまらない場合は36に記載してください。例 （8）床室。

※分娩棟・LDR棟について記載する場合は、その利用料を個室の欄に記載してください。

		回答欄		留意点等	
26		4 床室 (パターン 2)		床 円 床 円 床 円 床 円 床 円 床 円	個室（特別室など含）、2 床室、3 ～ 4 床室、その他（5 床室以上）に自費入院する際の、入院料 + 室料差額を記載してください。 注 1：室料差額が入院料に包括されている場合で、各部屋毎に入院料が異なる場合には、入院料を記載してください。 注 2：妊産婦の家族等が入院できる場合でも、妊産婦 1 名が対象となる場合は個室の欄に記載してください。 ※上記に当てはまらない場合は36に記載してください。例 （8）床室。 ※分娩棟・LDR棟について記載する場合は、その利用料を個室の欄に記載してください。
27		一日あたりの料金			
28		5 床室 (パターン 1)			
29		一日あたりの料金			
30		5 床室 (パターン 2)			
31		一日あたりの料金			
32		6 床室 (パターン 1)			
33		一日あたりの料金			
34		6 床室 (パターン 2)			
35		一日あたりの料金			
36		() 床室※			
37		一日あたりの料金			

(2) 患者のべ数等 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 30 日)				
38	入院患者のべ数 (※)		人	※産後、母親が入院している期間に病院内にいる新生児は含まない。退院後、なんらかの理由で入院となった新生児は含む

(3) 病棟に配置されている職員数 (常勤数、非常勤の常勤換算) (令和 6 年 9 月 1 日時点)					
39	助産師	常勤		人	助産師であり、主として助産師の業務を行っている常勤職員
40		非常勤 (常勤換算)			助産師であり、主として助産師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
41	看護師	常勤		人	看護師であり、主として看護師の業務を行っている常勤職員
42		非常勤 (常勤換算)			看護師であり、主として看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
43	准看護師	常勤		人	准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている常勤職員
44		非常勤 (常勤換算)			准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
45	看護補助者	常勤		人	看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている常勤職員
46		非常勤 (常勤換算)			看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
47	保育士	常勤		人	保育士であり、主として保育士の業務を行っている常勤職員
48		非常勤 (常勤換算)			保育士であり、主として保育士の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
49	医師事務作業補助者	常勤		人	医師事務作業補助者であり、主として医師事務作業の補助業務を行っている常勤職員
50		非常勤 (常勤換算)			医師事務作業補助者であり、主として医師事務作業の補助業務を行っている非常勤職員の常勤換算
51	その他の職員			人	

(4) オンコールの人数					
52	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院内</u> に待機している人数	助産師		人	※整数値で回答してください。
53		看護師			
54	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院外</u> に待機している人数	助産師		人	
55		看護師			

2病棟・ユニット目

2－2．病棟票・ユニット票（3つ以上の病棟・ユニットを有する場合は、各病棟・ユニットごとに記載※5.6ページをコピーして記載ください。）

病棟及びユニットについてご回答ください。ユニットに関して、ユニットが病棟に属する場合、ユニット票 1 枚、病棟票（病棟内でユニットを除く部分） 1 枚の計 2 枚にご回答ください。また分娩棟など、分娩室やLDRのみを有し、当該棟のみで看護配置が行われている場合は、分娩棟として 1 枚ご回答ください。

（1）病棟・ユニット構成等 令和6年9月1日時点

			回答欄		
1	病棟・ユニットの病床数				床
2	病棟構成（いずれか 1 つ選択）	1.産科単独病棟 2.産科区域の特定がある混合病棟 3.混合病棟 4.産科のみで複数の病棟・ユニットに分かれている。			
3	（上記の間で 2、3 を選んだ場合のみ回答）産科以外の診療科で当てはまるものを選択してください。		1.婦人科 2.産科・婦人科以外の他科診療科 3.婦人科および他科診療科		
4	（2の間で 4 を選んだ場合に回答）本回答用紙に当てはまる病棟・ユニット区分を選択してください。		1.妊婦用 2.褥婦用 3.分娩用 4.妊産婦用 5.MFICU用		
5	妊産婦が入院する部屋が全室個室の場合は「はい」を選択してください。		1.はい 2.いいえ		
6	病棟・ユニットの部屋の構成とその室料差額について病床数とその入院料＋室料差額の金額を記載してください。病床数が多い順に記載してください。		個室（パターン1）		床
7			一日あたりの料金		円
8			個室（パターン2）		床
9			一日あたりの料金		円
10			個室（パターン3）		床
11			一日あたりの料金		円
12			個室（パターン4）		床
13			一日あたりの料金		円
14			個室（パターン5）		床
15			一日あたりの料金		円
16			2床室（パターン1）		床
17			一日あたりの料金		円
18			2床室（パターン2）		床
19			一日あたりの料金		円
20			3床室（パターン1）		床
21			一日あたりの料金		円
22			3床室（パターン2）		床
23			一日あたりの料金		円
24			4床室（パターン1）		床
25			一日あたりの料金		円

留意点等

病床数を記載ください。分娩室・LDR室・陣痛室・新生児用ベッドを除き、産後ケア用ベッドは含めてください。ただし、産後ケア用ベッドと他のベッドで看護配置が分かれている場合には、別票に記載ください。

平時の状況を記載ください。（例えば、災害時や感染症拡大時等の運用は除きます）

1.妊産婦のみ入院する病棟の場合はこちらを選択してください。

2.妊娠を伴わない婦人科疾患の患者と妊産婦が入院する病棟が同じ場合はこちらを選択してください。

3.妊娠を伴わず、婦人科疾患も伴わない（消化器疾患や循環器疾患等）患者と妊産婦が入院する病棟が同じ場合はこちらを選択してください。

4. 例）妊婦用病棟、褥婦用病棟、分娩のみ行う病棟、MFICUなどに分かれている。

個室（特別室など含）、2床室、3～4床室、その他（5床室以上）に自費入院する際の、入院料＋室料差額を記載してください。

注1：室料差額が入院料に包括されている場合で、各部屋毎に入院料が異なる場合には、入院料を記載してください。

注2：妊産婦の家族等が入院できる場合でも、妊産婦 1 名が対象となる場合は個室の欄に記載してください。

※上記に当てはまらない場合は36に記載してください。例 （8）床室。

※分娩棟・LDR棟について記載する場合は、その利用料を個室の欄に記載してください。

		回答欄		留意点等	
26		4 床室 (パターン 2)		床 円 床 円 床 円 床 円 床 円 床 円	個室（特別室など含）、2 床室、3 ～ 4 床室、その他（5 床室以上）に自費入院する際の、入院料 + 室料差額を記載してください。 注 1：室料差額が入院料に包括されている場合で、各部屋毎に入院料が異なる場合には、入院料を記載してください。 注 2：妊産婦の家族等が入院できる場合でも、妊産婦 1 名が対象となる場合は個室の欄に記載してください。 ※上記に当てはまらない場合は36に記載してください。例 （8）床室。 ※分娩棟・LDR棟について記載する場合は、その利用料を個室の欄に記載してください。
27		一日あたりの料金			
28		5 床室 (パターン 1)			
29		一日あたりの料金			
30		5 床室 (パターン 2)			
31		一日あたりの料金			
32		6 床室 (パターン 1)			
33		一日あたりの料金			
34		6 床室 (パターン 2)			
35		一日あたりの料金			
36		() 床室※			
37		一日あたりの料金			

(2) 患者のべ数等 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 30 日)				
38	入院患者のべ数 (※)		人	※産後、母親が入院している期間に病院内にいる新生児は含まない。退院後、なんらかの理由で入院となった新生児は含む

(3) 病棟に配置されている職員数 (常勤数、非常勤の常勤換算) (令和 6 年 9 月 1 日時点)					
39	助産師	常勤		人	助産師であり、主として助産師の業務を行っている常勤職員
40		非常勤 (常勤換算)			助産師であり、主として助産師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
41	看護師	常勤		人	看護師であり、主として看護師の業務を行っている常勤職員
42		非常勤 (常勤換算)			看護師であり、主として看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
43	准看護師	常勤		人	准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている常勤職員
44		非常勤 (常勤換算)			准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
45	看護補助者	常勤		人	看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている常勤職員
46		非常勤 (常勤換算)			看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
47	保育士	常勤		人	保育士であり、主として保育士の業務を行っている常勤職員
48		非常勤 (常勤換算)			保育士であり、主として保育士の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
49	医師事務作業補助者	常勤		人	医師事務作業補助者であり、主として医師事務作業の補助業務を行っている常勤職員
50		非常勤 (常勤換算)			医師事務作業補助者であり、主として医師事務作業の補助業務を行っている非常勤職員の常勤換算
51	その他の職員			人	

(4) オンコールの人数					
52	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院内</u> に待機している人数	助産師		人	※整数値で回答してください。
53		看護師			
54	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院外</u> に待機している人数	助産師		人	
55		看護師			

3－1．外来概要

令和6年9月1日時点

(1) 外来体制

a.人員配置（常勤職員数＋常勤換算された非常勤職員数）

※病棟と独立して外来に人員配置している場合についてのみご回答ください。病棟に配置されている職員が外来業務を兼務している場合は、病棟票で回答いただいているため、ここでは対象外とします。

	回答欄	留意点等
1 助産師		人 人 人 人 人 人
2 看護師		
3 准看護師		
4 看護補助者		
5 医師事務作業補助者		
6 その他の職員		

※1 常勤とは、貴施設で定められた勤務時間をすべて勤務する者をいいます。ただし、貴施設で定めた1週間の勤務時間が32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤として計上し、その他は非常勤としてください。
※2 非常勤とは、貴施設と雇用関係にあつて※1の常勤でない職員としてください。貴院の1週間の所定労働時間を基本として、下記のように常勤換算して小数点第一位まで（小数点第二位を四捨五入）をご記入ください。
例1：1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週2日（各日3時間）勤務の看護師が1人と、週3日（各日5時間）勤務の看護師が2人いる場合（所定の勤務時間数を超えて行われた時間外勤務は含みません）
非常勤看護師数＝{（2日×3時間×1人）＋（3日×5時間×2人）}／40時間＝0.9人
なお、非常勤職員が月単位で管理をされている場合には、1か月の所定労働時間を用いて、1か月の勤務時間について常勤換算して計上してください。
例2：1週間の勤務を28時間としている場合、常勤勤務の看護師が1名、週2日（各日4時間）勤務の看護師が2名いる場合、看護師数＝{（2.8時間×1人）＋（2日×4時間×2）}／32時間＝1.4人

(2) 外来の状況

1	一日当たりの平均妊婦健診数 （令和6年9月1日～30日の1ヶ月平均）		人	産婦（産褥婦）に対する健診を除きます。妊婦健診数のため、疾病等により保険診療として行ったものは除いてください。
2	1のうちの平均助産師外来受診数 （令和6年9月1日～30日の1ヶ月平均）		人	産婦（産褥婦）に対する健診を除きます。
3	一日当たりの平均産婦健診数 （令和6年9月1日～30日の1ヶ月平均）		人	産婦（産褥婦）に対する健診数を記載ください。産婦健診数のため、疾病等により保険診療として行ったものは除いてください。
4	3のうちの平均助産師外来受診数 （令和6年9月1日～30日の1ヶ月平均）		人	産婦（産褥婦）に対する健診数を記載ください。

※1から4の平均数は、9月1日～30日の総数を、外来実施日数で割った数を、小数点第一位（小数点第二位を四捨五入）で求めてください。
なお、半日の外来の日は0.5として数えてください。
水曜が休診、土曜が午後休診、日曜・祝日が休診の場合、分母は、1×15日＋0.5×4日＝17日（9月16日、23日を祝日としております。）

3－2．補助

(1) 妊婦健診

	回答欄	留意点等
1	妊婦の初回受診(妊婦健診の対象とならない妊娠確認のための受診)に係る費用の平均額	円 令和6年9月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦の初回受診(妊婦健診の対象とならない妊娠確認のための受診)の費用（診察料を含む）の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。 例：分娩された4人について、それぞれ初回受診の費用が8000円、10000円、10000円、14000円だった場合、 （8000＋10000＋10000＋14000）/4＝10500円
2	妊婦の平均的な妊婦健診の受診回数	回 令和6年9月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦健診として受診した平均的な回数を小数点1桁までお答えください。 例：分娩された4人について、それぞれ妊婦健診の回数が12回、13回、14回、15回だった場合、（12＋13＋14＋15）/4＝13.5回
3	妊婦の平均的な妊婦健診の費用の合計額	円 令和6年9月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦健診の費用（自治体で補助される費用も含みます）の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。 例：分娩された4人について、それぞれ妊婦健診の費用が10万円、11万円、12万円、13万円だった場合、（10＋11＋12＋13）/4＝11.5万円
4	3のうち、自治体の補助を除いた、平均的な妊婦の窓口負担の合計額	円 3のうち、自治体の補助を除いた、窓口での妊婦への請求額の平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。
5	3のうち、妊婦健診の望ましい基準に含まれない健診項目の費用の合計額	円 3のうち、妊婦健診の望ましい基準に含まれる項目を除いた健診項目の費用の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。

※妊婦健診の望ましい基準

【厚生労働省「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」に示されている項目】

- 1.超音波検査（4回） 2.血液型等の検査（ABO血液型、Rh血液型及び不規則抗体に係るもの） 3.B型肝炎抗原検査
4.C型肝炎抗体検査 5.HIV抗体検査 6.梅毒血清反応検査 7.風疹ウイルス抗体検査 8.血糖検査 9.血算検査
10.HTLV-1抗体検査 11.子宮頸がん検診 12.性器クラミジア検査 13.B群溶血性レンサ球菌検査

3－3．各健診等における内容・費用

(1) 各健診等

a. 妊婦健診において所在地自治体の補助に含まれない検査で、基礎疾患のない一般的な妊婦に対して実施している項目（保険診療を除く）

	項目	費用	回数
1		円	回
2		円	回
3		円	回
4		円	回
5		円	回

例) 超音波検査・血糖検査・血算検査（助成回数を超える分）、トキソプラズマ検査、サイトメガロウイルス検査、麻疹ウイルス抗体検査、NSTなど

b. 妊婦健診以外の妊婦を対象とした診察・ケア（保険診療を除く）

	項目	費用	1か月間の 外来人数
6		円	人
7		円	人
8		円	人

留意点

※ 1 令和 6 年 9 月の1か月間の人数

※ 2 胎児超音波外来、ハイリスク外来（多胎、合併症等）、出生前検査に関する外来、周産期麻酔外来など、通常の妊婦健診を行う外来以外の、妊産婦に係る専門的な外来の標準的な費用を記載してください。

※ 3 妊婦健診と同時に行っている場合には、妊婦健診分の費用を除く。

※ 4 妊婦の選択等により、費用が大きく差がある（概ね5,000円以上）場合は、選択数が多い2つを①、②として記載ください。 例:出生前検査に関する外来①、出生前検査に関する外来②

例) NIPTなどの出生前検査、4D超音波など

c. 産婦健診 ※行っていない場合は、空欄としてください。

		産婦健診費用①	自治体の 補助・助成の有 無	(1.有の場合) 自治体の補助額② ※所在自治体との委託契約の 内容を基に回答ください	産婦への請求 (①-②)	検査項目 ※該当する番号を全てお書き ください。 1.血圧 2.体重 3.尿検査 4.内診 5.超音波検査 6.採血 7.メンタルヘルスの評価	左記の選択肢にない検査項目
9	分娩後2週間頃	円	1.有 2.無	円	円		
10	分娩後4週間頃	円	1.有 2.無	円	円		
11	その他 (分娩後()週間頃)	円	1.有 2.無	円	円		

d. 産婦健診以外の産婦を対象とした診察・ケア（保険診療・産後ケアを除く）

	項目	費用	1ヶ月間の 外来人数
12		円	人
13		円	人
14		円	人

(2)産後ケア

15	産後ケアの実施の有無		1.有 2.無
16	産後ケアの実施が有の場合	短期入所型（ショートステイ型）	1.有 2.無
17		通所型（デイサービス型）	1.有 2.無
18		居宅訪問型（アウトリーチ型）	1.有 2.無

	項目※行っていない場合は、空欄としてください。		費用	1ヶ月間の延べ利用者数*	
19	短期入所型（ショートステイ型）	1泊2日	円	人	・費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）、1泊2日利用した場合の費用（利用者の自己負担と自治体からの補助の合計）を記載してください。 ・延べ利用人数については、例えば3泊4日利用した場合は4人として計上してください。
20	通所型（デイサービス型）	1日	円	人	・費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）記載してください。 ・利用者数については、市町村からの委託を受けて実施している分と市町村からの委託を受けて実施している分と、それ以外で実施している分を合わせて計上してください。
21		半日	円	人	・1日利用とは別に、半日利用の費用を設定している場合に記載ください。
22	居宅訪問型（アウトリーチ型）	1回	円	人	・費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）記載してください。 ・利用者数については、市町村からの委託を受けて実施している分と市町村からの委託を受けて実施している分と、それ以外で実施している分を合わせて計上してください。

* 令和 6 年 9 月1日から令和 6 年 9 月30日の数値をご記入ください。

調査へのご協力ありがとうございました。現在、「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」において、妊娠・出産・産後に関する様々な支援等の更なる強化の方向性について議論が行われています。この議論に関して、ご意見があれば以下に記載をお願いします。

(自由記述欄)